

2018年9月14日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器内科で、肝血管腫の検査を受けた患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第二講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当講座の長と本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名 肝血管腫における造影超音波検査に関する後ろ向き観察研究
2. 研究責任者 和歌山県立医科大学内科学第二講座 講師 井田良幸
3. 研究の目的

造影超音波検査は、肝臓の腫瘍が悪性なのか良性なのかを判断するのに有用な検査です。肝血管腫という良性の腫瘍を造影超音波検査で観察した時の診断方法については日本超音波医学会が基準を設けています。しかし実際に私たちが多くの肝血管腫の患者さんに検査を行っている時、必ずしも基準通りに写るわけではないのかもしれないと思われるケースを経験します。そのため、これまでの肝血管腫患者さんの画像の特徴を調べることで、造影超音波検査の診断方法の進歩に貢献できると考えました。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

肝血管腫の成人の患者さんで、2010年5月から2017年12月の間に当院において造影CTまたはMRIにより肝血管腫と診断され、造影超音波検査を受けられた方を対象とします。

(2) 利用させて頂く情報

病変の大きさ、病変の位置、超音波の見え方、使用した超音波装置についての情報です。

(3) 方法

電子カルテから情報を取得し、肝血管腫の造影超音波での染まり方や欠損の仕方を、日本超音波医学会の基準と比較検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。収集した情報は研究終了後に当大学の規定に従い破棄します。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学第二講座 担当医師 清水遼

TEL : 073-447-2300 FAX : 073-44-3616 E-mail : rshimizu@wakayama-med.ac.jp